

纏

matoi

2026. 春号

木更津市消防団だより

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(警防課)

2026年3月発行
VOL.41



木更津市
ホームページ
消防団だよりへ





木更津市消防出初式が令和8年1月18日(日)旧市役所敷地内で行われました。

当日、団員の中には「防寒着無しで丁度よい」という声が聞かれるほど快晴に恵まれていたものの、ときおり吹く風の影響で、一斉放水に影響がでるかも知れないという話の中、式典が開始されました。式典は例年どおり行われ、消防広場では近隣各市のマスケット達とのふれ合いや15m級はしご車の搭乗体験など楽しい催し物に加え、大人気の千葉市消防局の消防ヘリ「おとり」の展示には家族連れや多くの来場者の方々で行列ができていました。

風の影響で演習ができないかもしれないと危ぶまれていた毎年恒例の実際の火災を想定した、一斉放水では風の影



響を受けることなく、消防職員と消防団員が一丸となり連携の取れた素晴らしい連携総合訓練が披露されました。

最後に消防広場から飛び立った消防ヘリ「おとり」による上空からの散水には、大勢の来場者から歓声があがりました。

こうした消防職員と消防団員の連携による演習は、この先のいつ発生するかわからない未曾有の事態に必ずいかされる事だと思えます。



令和7年10月12日(日)に木更津市下郡地先の林野及びその付近を会場に木更津市消防本部と連携した林野火災対応訓練を実施しました。

この訓練は、全国各地で大規模な林野火災が発生しており、消防本部では林野火災における迅速かつ的確な対応力



令和8年2月15日(日)に木更津市消防団春季消防演習を実施いたしました。

の向上を主な目的として本訓練を実施し、林野火災発生時における消防機関相互及び関係機関との連携体制を強化し、指揮命令系統の確立、迅速な情報共有及び消火活動の円滑な遂行を図りました。

当日は、林野火災現場における消火活動訓練、千葉市消防局の協力を経て消防ヘリ「おとり」による空中消火訓練や千葉アクア生コンクリート協同組合の協力のもとコンクリートミキサー車を用いた給水訓練などを実施しました。

この訓練は、3つのブースに分かれて指揮運用訓練、緊急走行訓練、ポンプ運用訓練を実施しました。多くの消防団員が参加し、



総合的な消防力、対応力の向上を図りました。今後も、消防団に必要な様々な訓練を実施し、技術・知識の向上に努めてまいります。



冬に大活躍する「暖房器具」は、春が近づくにつれて使う機会も減り、シーズンが終われば、石油ストーブ、石油ファンヒーター、灯油ストーブなどの暖房器具は片付けと思います。そこで、暖房器具の保管方法や保管前のお手入れ、保管する際の注意点について詳しく説明します。

暖房器具の保管前のお手入れ・保管場所



①ホコリや汚れがついたままにしない

外側ボディは湿らせたやわらかい布で汚れを落とし、からぶきをするくらいが良いと思います。強い力で磨いてしまうと傷がついてしまいますので気を付けましょう。

②サビやカビ防止のための湿気対策

暖房器具はなるべく「湿度が少ない場所」に保管して下さい。直射日光が当たるところも避けた方が良いでしょう。押し入れや収納庫に保管する場合は、除湿剤などを一緒に入れておきましょう。

石油ファンヒーター・ストーブの本体の中に残っている灯油を無くすには…



給油タンクを引き抜くと本体内部に固定タンクが見えますので、そこからまずオイルフィルターを取り出します。そこに給油ポンプを差して固定タンク内の残った灯油やゴミを吸い上げます。オイルフィルターが汚れていた時は、オイルフィルターの中の水やゴミを取ってからきれいな灯油で洗ってから元に戻して下さい（水洗いは絶対にしないでください）。

暖房器具のしまい方と保管方法

間違った方法でしまえば、暖房器具が劣化してしまう場合があるので、正しい保管方法や片付け方を把握しておきましょう。

暖房器具の購入時の元箱や不要な段ボールを活用してください。無い場合は埃が入らないようにビニール袋に入れて保管します。一番良い方法としては、購入時に入っていた元箱を利用することです。購入した時の状態で保管することが重要です。

石油ファンヒーター・ストーブなどの灯油を使う製品の場合は、必ず灯油を抜いてから保管しましょう。火災の原因にもなりますし、故障の原因にもなります。前年から持ち越した灯油は劣化しているので使用しない方が良いとされています。また、電池を使用している製品は、必ず電池を抜いて保管します。

引用 リサイクルショップ 埼玉出張買取コールセンター <https://www.recycleshop-saitama.net> 不用品の買取



日頃の練習の成果を各部門も遺憾なく発揮してケガや事故等なく無事に終了する事ができました。

第48回木更津市消防団早出し放水競技大会が令和7年11月9日（日）に旧市役所敷地内で行われました。当日は小雨の中、実際の火災を想定して訓練が行われました。あくまでも訓練ですので火災地点と防火水槽の位置が決められており消火に使用するホースの必要本数は3本です。いかに早く放水定位につき放水し、消火できるかを競う競技なので出場選手達は「焦らず急ぐ」という事を肝に銘じて競技を行いました。

第48回 早出し放水競技大会



- ▽ 優 勝 2分団5部 (上馬田八幡)
- ▽ 準優勝 5分団3部 (高倉草敷)
- ▽ 3 位 7分団4部 (牛袋)
- ▽ 4 位 4分団7部 (高柳)
- ▽ 5 位 2分団4部 (中久保・烏田)
- ▽ 6 位 7分団3部 (牛袋・首根)



- ▽ 優 勝 4分団3部 (久津間)

大会の結果

《ポンプ車の部》

第4分団紹介

第4分団は、現在第1部(中里8名)、第2部(江川11名)、第3部(久津間14名)、第4部(万石10名)、第6部(西山10名)、第7部(高柳16名)の6個部により構成されています。第1部と第3部がポンプ車を扱っており、それ以外の個部は小型ポンプを扱っております。

※第1部は令和8年4月より小型ポンプに転換予定

令和7年度の活動として毎年行われる早出し放水競技大会では第3部がポンプ車の部で優勝、第7部が小型ポンプの部で4位に入賞するなど訓練の成果を發揮しています。

また、団員の知識及び技術の向上を図るべく消防本部と協力して、講習会を開催するなどして、地域の皆様と共に火災や自然災害に備えるべく活動を続けてまいります。



第8分団紹介

第8分団は、第1部(真里・大稲7名)、第2部(下内橋・戸国・茅野8名)、第3部(茅野七曲・山本七曲5名)、第4部(真里谷・茅野12名)、第6部(下郡・下宮田・根岸・上根岸9名)、第7部(田川・佐野5名)の6個部により構成されており、富岡、馬来田の2つの地区が統合された富来田と言う地区になります。

平成19年3月に圏央道木更津東インターが開通、東京、横浜間が40分程度となり、交通の便が良くなりました。

平成29年10月には木更津市初となる道の駅うまくたの里がオープンし、多くの観光客が訪れ賑わっております。また、ハイキングコースやブ

ルーベリー狩り、紅葉やコスモスフェスティバル、どんど焼きなど自然豊かな富来田ならではの行事も魅力です。

令和8年2月15日(日)に春季消防演習に参加、木更津消防署職員指導のもと、総合的な防災力、対応力の向上と情報共有を図り、相互の連携強化及び士気高揚を努めることができました。

いつ起こるか分からない、自然災害や火災から地域の皆様の生活、財産、ふるさとを守るための消防団活動、訓練に取り組んでいきます。

消防分布図

- ① 消防本部・消防署
- ② 分署・出張所
- ③ 個部の詰所



消防団員募集

地域の防災リーダー
消防団員募集!
(随時募集中)

木更津市消防団では、消防団員を募集しています。

「自分たちのまちは、自分たちで守る。」

共助の中心となり、地域防災のため活動しましょう。消防団は誰にでも参加できる活動です。

そんなあなたのチカラが消防団には必要です。会社員の方、自営業の方、主婦の方など、性別・職業を問わず、色々な方が参加しています。

木更津市では、基本分団のほか機能別分団女性部、学生部、大規模災害部があります。この機能別消防団はより多くの市民が消防団活動に参加できるよう役割を特化し、時間の許す範囲で活動を行うことができる制度で、全国的に導入されています。

機能別分団女性部は、応

急手当指導員として市民への救急講習などの普及啓発活動や市内中学生に向けた防火防災意識の普及啓発活動、災害時における後方支援活動を目的として、現在活動中です。

機能別分団学生部は、大学生・専門学校生等で組織され、学生特有の充実した気力、ボランティア精神力、優れた吸収力を活かし、防火防災意識の普及啓発活動を目的として活動しています。

機能別分団大規模災害部は、元消防職団員で組織され、今後発生が危惧される首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるため、大規模災害時の活動を行うことを目的として活動しています。

木更津市に在住、在勤、または在学する18歳以上で、健康な人なら誰でも入団できます。みなさまの入団をお待ちしております。